



## 伏之前集落實年クラブ（中種子町）

発表者：日 高 實 良 氏

ただいまご紹介いただきました中種子町の伏之前集落實年クラブの日高でございます。本日は、思いがけない表彰、誠にありがとうございました。また、私ども実年クラブの活動事例について発表の機会をいただき、光栄に思います。

私たちが住んでいる中種子町は、文字どおり種子島の中央に位置します。さらに、その中ほどにある伏之前地区は、役場に近く、旧種子島空港や県営住宅・町営住宅があり、町内では最も人口が多い地区です。また、町内の単位老人クラブとしても、最も会員数が多い組織となっています。

伏之前地区には、昭和48年頃から30年以上にわたって活動していた老人クラブがありましたが、参加メンバーの固定化や高齢化と併せて、新規加入者が減り、活動が次第に低迷して休眠状態になっていました。

高齢化社会に向かう中、社会への参加や生きがいづくりなど、個人では対応が難しい事柄も多く、困っていました。そうした矢先、自治会からも老人クラブの結成を望む声があり、平成18年に再び結成へ向けて検討を始めました。女性や56歳以上の青壮年会退会者、65歳以上の各階層の高齢者に参加を呼びかけ、クラブ結成に至りました。

クラブ結成の条件として

- ①クラブの名称を、若い層にも受け入れやすい実年クラブとする。
- ②参加年齢を56歳からとする。
- ③活動の範囲を地区内だけとする。

これらの条件で平成19年に伏之前集落實年クラブとして再スタートしました。

平成27年現在の会員数は71人であります。その内訳は、男性39人女性32人です。また、56歳から64歳までの若い会員9人が加入したことで、より活気のある活動が行われるよう

になりました。さらに、このクラブの充実のためには、上部団体の助言や、行政の指導が重要であると判断して、平成22年に町老人クラブ連合会へ加入しました。

活動内容を具体的に紹介しますと、まず1つ目は、奉仕作業をクラブの年間計画に組み入れて年2回実施しています。伏之前集落の多目的広場の清掃作業には、毎回40人以上の参加があり、周辺の草払いや除草を行います。これと併せて神社や公民館の清掃、花壇の手入れなども行っています。また、年間計画以外に、その都度必要に応じて自主的に集まり、周囲の樹木を剪定したり、ゲートボール場の芝刈りをするなどして、多目的広場はいつでも誰でも利用できる集いの場になっています。



2つ目は、県立中種子養護学校での総合学習交流活動への支援活動です。県立中種子養護学校は、県内の離島で初めて設置された特別支援学校です。今年2月、要請を受け、「昔のものを作る」をテーマにして、生徒の皆さんと一緒に缶下駄作り・お手玉作り・黒糖（ふくれ）菓子作りに取り組みました。できあがった缶下駄で歩いたりお菓子を食べたりして、生徒の皆さんには大変喜んでもらえました。また、昔の遊びやおもちゃ、食べ物を知ってもらうことができ、私たちも和やかな時間を過ごすことができました。今後も、こうした交流活動を続けていきたいと考えています。

3つ目です。クラブの一大行事でありますグラウンド・ゴルフとゲートボールは年に2回大会を開催しています。多目的広場で、午前中にグラウンド・ゴルフ、午後からゲートボールを約40人の参加会員が豪華賞品獲得を目指して奮





闘します。賞品もさることながら、運動後の夕方の冷たい1杯がなんともいえないところで。2回目の大会は、12月に忘年会を兼ねて、大会に参加できなかった会員も対象に懇親会を開きます。女性たちは手作りの料理などをそれぞれに持ち寄り、会は盛り上がります。

4つ目は、5の日の活動として、毎月5日・15日・25日の3回、午後からゲートボールの練習をおこないます。それぞれの技術向上のために、また、それぞれの健康状態に合った練習をすすめています。

町老連主催のゲートボール大会が年2回、グラウンド・ゴルフ大会が年1回開催されます。各大会とも20人～25人が進んで参加するようになりました。これもひとえに5の日の練習の成果だと考えています。

練習に使用しているのが多目的広場です。多目的広場には、倉庫やトイレなど必要なものはほとんど揃っていますが、ただ1つ休憩所がなくて困っていました。そこで、何とか自分たちで簡易休憩所を建てるのができないかと、会員の中の数名の大工経験者を中心に、会員が力



を合わせ、平成23年8月に、約1か月かかって完成させたのです。もちろん木造ですが、雨風が凌げますので、みんなの語らいの場にも使ってもらっています。見た目は立派とは言えませんが、とても満足しています。

この広場も、以前は、雑草がはびこる空き地でしたが、自分たちで芝を植え、水をやり、草を取り、そして芝刈りなどを続けた結果、今では、立派な広場となっています。ゲートボールの練習などのほか、近所の子供たちのサッカーなど地区の皆さんにも利用してもらい、大変喜んでもらっています。

また、この広場の周囲に、会員総出で桜や椿の苗木を植えました。やがて満開の桜に囲まれてスポーツ大会を開催するなど、地区の皆さんに楽しんでいただける日も近いのではないかと、楽しみにしています。

5つ目は研修です。町外研修は、中種子町社会福祉協議会の事業を活用して、福祉バスで



島内の文化史跡学習などの研修を行います。平成26年度は西之表市にある新しい種子島清掃センターのごみ処理場の現地研修を行い、ごみの分別などを学習しました。

海岸線の長い中種子町では、海の日に合わせて、全町民に呼びかけて海岸清掃を実施しています。当クラブでも年間計画に入れて積極的に協力しています。

最後になりますが、今後の目標として、現在進めているゲートボールを中心としたスポーツ活動をより一層充実しながら、活動の場を広げ、会員一人一人が取り組みやすいよう工夫しながら進めたいと考えています。

取り組みの重点としては

- ①会員の一部が取り組んでいる高齢者見守り活動をクラブの活動に取り入れること。
- ②スポーツが苦手な会員向けに、料理教室などの活動を行うこと。
- ③町内外の他団体との交流を深め、新しい分野の活動を取り入れること。
- ④安定した活動の継続のために新しい会員の確保に努めること。

こうした取り組みが会員の新たな加入に繋がっていくものと考えています。

今後とも、これらの取り組みを中心として活発な活動を進め、いきいき元気な伏之前集落実年クラブを目指してまいります。